

洪水を想定して机上訓練を行いました

富山河川国道事務所は、2月13日（金）に富山地方气象台と共同で、庄川での出水を想定し洪水予報文作成の机上訓練を行いました。

洪水予報とは、河川の増水やはん濫などに対する水防活動の判断や住民の避難行動の参考となるように、河川管理者（国土交通省）と気象庁が共同で、事前に指定した河川について区間を定めて水位または流量を示した洪水の予報を行うものです。富山県内では、黒部川、常願寺川、神通川、庄川、小矢部川が指定されています。（黒部川は黒部河川事務所が所管）

今回の訓練は、富山地方气象台の担当者を富山河川国道事務所に招いて行いました。実際の洪水時は、電話等で密に連絡を取り合いながら作業を行っていますが、今回の訓練では普段は直接見ることのできない作業をお互い確認し合いながら行うことができ、作業手順等について相互理解を深めることができました。

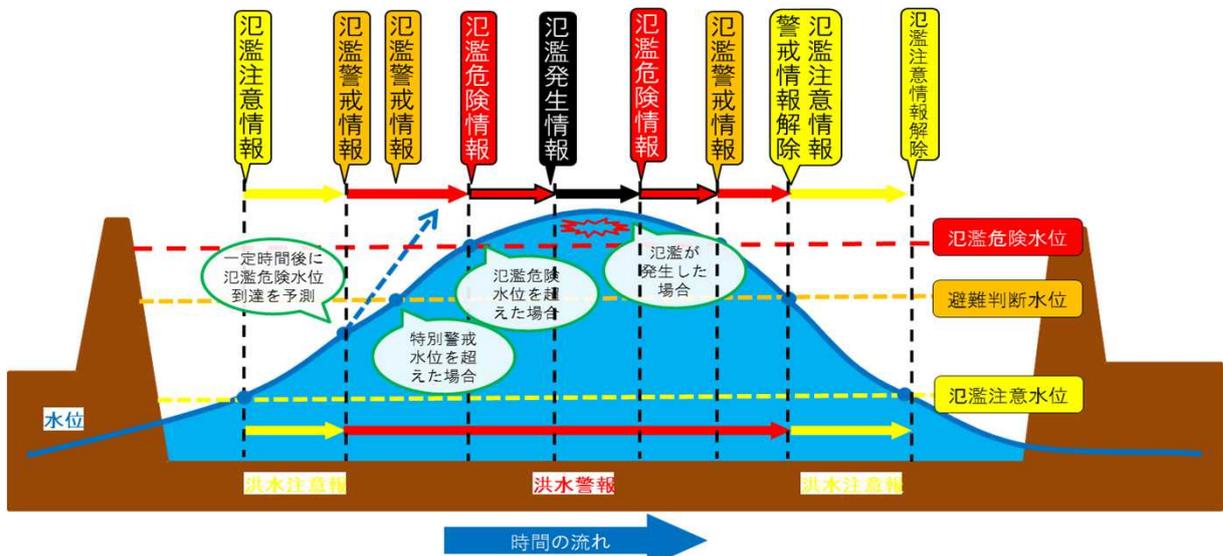
富山河川国道事務所では、住民の方の「安全・安心」を守るために、本日の訓練の成果を活かし、洪水時に確実・迅速に洪水予報の発表が行えるよう引き続き取り組んでいきます。



洪水予報文作成訓練の様子

洪水予報の種類	発表基準	市町村・住民に求められる行動
〇〇川氾濫発生情報 (洪水警報)	氾濫の発生(レベル5)	[市町村] 新たに氾濫が及ぶ区域の住民の避難誘導 [住 民] 新たに氾濫が及ぶ区域では避難を検討・判断
〇〇川氾濫危険情報 (洪水警報)	氾濫危険水位(レベル4)に到達	[住民] 避難を完了
〇〇川氾濫警戒情報 (洪水警報)	一定時間後に氾濫危険水位(レベル4)に到達が見込まれる場合、あるいは避難判断水位(レベル3)に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合	[市町村] 避難勧告等の発令を判断し、状況に応じて発令 [住 民] 避難を判断
〇〇川氾濫注意情報 (洪水注意報)	氾濫注意水位(レベル2)に到達し、さらに水位の上昇が見込まれる場合	[市町村] 避難準備情報の発令を判断し、状況に応じて発令 [住 民] 氾濫に関する情報に注意

参考：洪水予報の発表基準と求められる行動



参考：河川の水位と洪水予報発表のイメージ